



TOPIC | 1 | 住宅データ連動で業務革新の動きが加速

住宅データを連動させ、住宅のプレゼンから意匠図作成、構造設計、伏図作成、積算・見積りといった業務効率を格段に高めるソリューション提案が活発化している。

コンピュータシステム研究所は、プレゼンから見積り、構造計算まで一気通貫で対応できる業界初の住宅プレゼンシステム「ALTA - Revolution」を発売した。「ALTA」シリーズの最新版で、同社が開発した木造建築物構造計算システム「KIZUKURI」を搭載することで、住宅営業のプレゼン・見積り段階で構造計算まで実施できるようにした。「プレゼン」、「見積り」、「設計」、「伏図」、「木拾い」、「構造計算」といった各段階で、これまでバラバラだったデータを一気通貫でつなげることで、再入力の手間の解消、受発注ミスを抑制し、大幅な業務改善効果が期待できる。

住友林業の100%子会社のホームエクスプレス構造設計

は、ビルダーやプレカット工場向けの構造設計支援サービスを開始した。福井コンピュータアーキテクトの3D建築CADシステム「ARCHITREND ZERO」でビルダーが作成した意匠図データを基に、

構造計算書、構造伏図、プレカット加工データを同社が「HM-EX CAD」を使用し自動生成する。その後、生成されたデータをプレカット工場に公開し、プレカット工場が加工、現場に納品する。設計業務の時間短縮、手戻りを防ぐといった業務の合理化・効率化効果が期待できる。

住宅業界の働き方改革を強力に推進するソリューションとして注目を集めそうだ。



コンピュータシステム研究所が開発した「ALTA - Revolution」。構造計算システムの搭載により、営業スタッフのプレゼン段階で、3Dプランの作成、見積りまで算出できる機能を持たせた

TOPIC | 2 | テレワーク対応の賃貸住宅の投入相次ぐ

テレワーク対応の賃貸住宅を投入する住宅メーカーが相次いでいる。仕事に集中できる環境整備の提案が、今後、賃貸住宅でも活発化しそうだ。

大東建託は、テレワーク対応型の間取りプランを採用した賃貸住宅の販売を始めた。木造2階建て商品「KLEUR（クルール）」ではワークスペースや物干しスペースなど用途を限定せずに利用できる個室を提案している。また、10月には別の木造2階建て賃貸住宅で、可動式の間仕切りを採用し、必要な時にテレワーク空間が確保できる商品を投入する。

大和ハウス工業は、高遮音床や高遮音界壁を採用した3階建て賃貸住宅「GRACA（グラサ）」を売り出した。住宅でのテレワークで、最も多い悩みの1つが“音”に関すること。それに対応した形だ。

高遮音床には、一般的な鉄骨造を上回る遮音性能「LL-45」「LH-60」をスタンダード仕様にした。また、高遮音界壁には、一般的な賃貸住宅を2ランク上回る遮音性能「D-50」を「スタンダード仕様」にした。

パナソニック ホームズは、IoT 賃貸住宅「YOUR MAISON（ユアメゾン）」で、最大1Gbpsの賃貸住宅向けシェア型インターネットサービス「iのぞみネット by PH光」を用意。建物に引き込んだ1本の光回線を各戸へ分岐することで、入居当日から、インターネットの利用が可能になり、快適な通信環境を居住者に提供する。

今後、テレワークの浸透が見込まれているなかで、スペースの確保にとどまらない、より踏み込んだ提案が、商品の差別化を図る上で重要になりそうだ。